

図書館だより

天理高校図書館

令和5年 2月



図書館では、現在
「ねこ本」特集
開催中!

にゃん にゃんにゃん
2月22日は

ねこの日



「世界一の動物画家が描いた家ネコと

野生ネコの図鑑」 藪内正幸 画 今泉忠明 監修 宝島社

ネコ科の動物たちの生態がわかる図鑑ですが、写真ではなく、全て絵で紹介されています。リアルな絵から感じられる迫力と、作家の動物愛ゆえの温かさが共存した画集のようです。

「ねこは るすばん」

町田尚子 作 ほるぷ出版

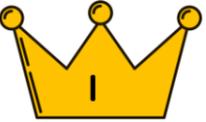
「ねこは、人間たちが出かけて行った後、何をしているのだろうか？」玄関で飼い主の帰りを淋しく待ってなんてられない。今日も、おでかけいたします!!



読書で心をあたためよう

毎日、本当に寒いですね。体調はいかがでしょう？睡眠、食事等に気を付けて、免疫力を高め、体調を万全にしてくださいね。図書館には、心温まる本がたくさんあります。落ち着かない毎日ですが、こんなときこそ、読書で心をあたためて、心豊かな生活をおくりたいですね。

今月は、2022年度天理高校人気本特集です。2022年4月～2023年1月末で貸出回数の多かった本を紹介します。どの本も、話題となった面白い本ばかりです。人気本なので、借りられていることもあるかもしれませんが、そんな時は、カウンターで「予約してください!」と言ってください。返却されしだい、連絡します!!



「また、同じ夢を見ていた」

住野よる 著 双葉社

「幸せとは何か?」学校の授業で出された宿題の答えを考え続ける主人公。クラスメートが自分より劣って見えてしまい、自分自身が何より大切だった彼女の周りに次々と年上の女性たちが現れる。彼女たちとの交流で、少しずつ主人公の心に変化が...生きることに...について深く考えさせてくれる本です。



「かがみの孤城」

辻村深月 著
ポプラ社

突然始まったいじめで学校に行けなくなった主人公。自分の部屋のかがみが突然、光を放ち、吸い込まれるように、鏡の中に導かれて...絶望から再生への物語。本屋大賞を受賞し、映画にもなった話題作です。最後まで、気の抜けない展開を楽しんでください。



「余命10年」 小坂流加 著 文芸社

不治の病と宣告され、恋愛はしないと決めていた主人公。彼女の前に現れた青年は、かたくなな主人公の心を少しずつ溶かしてゆきます。しかし、彼女の人生の残りの時間は、確実に減ってゆく。彼女が一人で下した決断とは...映画にもなった話題作。ハンカチ必携です。

10作品決定! 大賞発表は4月12日!!

2023年ノミネート作決定! 本屋大賞



Supported by NOLTY 手帳ブランドNOLTY[ノルティ]は本屋大賞を応援しています。



本屋大賞

ノミネート作品発表

本屋大賞とは、全国の書店員が自分で読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票して決める賞です。一次投票の結果、上位10作品が二次投票ノミネート作品と決定しました。今後このノミネート作品を対象に二次投票を実施し、4月に「本屋大賞」を発表します。<投票対象は2021年12月1日～2022年11月30日の間に刊行された(奥付に準拠)日本の小説(判型問わずオリジナルの小説)>
本屋大賞HP <https://www.hontai.or.jp>

- 『川のほとりに立つ者は』 寺地はるな/双葉社
- 『君のクイズ』 小川哲/朝日新聞出版
- 『宙ごはん』 町田そのこ/小学館
- 『月の立つ林で』 青山美智子/ポプラ社
- 『汝、星のごとく』 凧良ゆう/講談社
- 『方舟』 夕木春央/講談社
- 『#真相をお話しします』 結城真一郎/新潮社
- 『爆弾』 呉勝浩/講談社
- 『光のところにいてね』 一穂ミチ/文藝春秋
- 『ラブカは静かに弓を持つ』 安壇美緒/集英社

Supported by NOLTY 手帳ブランドNOLTY[ノルティ]は本屋大賞を応援しています。

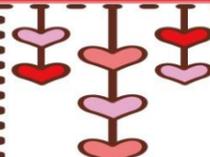
書籍名五十音順

館内展示

「天理高校人気本」



「ねこ本」特集



本屋大賞ノミネート作品10冊全部そろいました。どんどん借りて、どんどん読んで、今年は、どの作品が対象を受賞するか予想してみてください。本屋大賞発表は4月12日です!!

